

# 箱根町地域包括支援センターより

私たちが地域包括支援センターは、箱根町で暮らし  
 おおむね六十五歳以上の方々の総合相談窓口として、  
 『日常生活上の困りごと』、介護や病気に関すること、  
 そして、『権利擁護に関すること』など、様々な相談を  
 お受けし、必要な支援を行なっています。

## 「権利擁護」ってどんなこと???

ここでいう『権利』とは、『その人らしい生活を送る  
 権利』のことをいいます。  
 では、『その人らしい生活』って何でしょう。  
 例えば…



◆自分の年金や貯金は、今後の生活の為に大切に使用していきたい。  
 (でも、最近もの忘れができてきているので、お金の管理が上手  
 手できるか不安。)

◆身綺麗にして整理整頓された中で生活したい。(でも、一人で  
 はお風呂に入るのも、着替えるのも思うようにできない。部屋  
 を片付けたり掃除したりするのも大変なので、あちこちに物が  
 溢れてしまっている。)

◆家族に怯えずに暮らしたい。(でも、家族に「早く歩け」とか  
 「金食い虫」とか言われたり、時々殴られたりして、毎日辛い思  
 いで生活している。)

こういった状況の背景には、

◇加齢や病気により、身体が思うように動かなくなってしまう  
 た。

◇加齢や病気により、ご本人の理解力や判断力が弱くなり、適  
 切な選択や対処がしづらくなってしまう。

◇ご家族等、第三者が故意にそうしている。  
 などといった問題が潜んでいます。



私たちは、必要に応じて他機関と連携をとりながら、当事者と  
 一緒に『その人らしい生活』を阻害している問題の解決と、そ  
 の人が安心して生活の実現に向け支援をします。

これが私たち地域包括支援センターが行なう『権利擁護』に關  
 する支援です。

## ～あたたかいご支援ありがとうございます～

### 善意の寄託

善意の寄託(平成22年11月13日～平成23年3月11日) ※敬称略

次の方々より、町社協へ  
 善意の寄託をいただきました。  
 ここにご報告させていただきます  
 とともに謹んでお礼申し上げます。

寄託年月日	寄託者	寄託金品
11月25日	マックスバリュ東海(株) ヤオハン荻窪店	車イス1台
12月3日	勝 栄	5,000円
12月6日	大涌谷延命地藏尊世話人	30,000円
12月8日	仙石原地区対抗ゴルフ大会コンペ	26,281円
12月16日	仙石原寮和会	18,610円
12月16日	(株)北海道箱根牧場 代表取締役社長 勝保 克廣	ジャガイモ800kg
1月5日	勝 栄	5,000円
1月10日	箱根町歩く会	9,600円
1月13日	箱根ロータリークラブ	40v型液晶テレビ1台
1月14日	富士屋ホテル	30,000円
2月4日	勝 栄	5,000円
2月14日	神奈川県生命保険協会	ダイハツミラバン1台
2月24日	湯本富士屋ホテル	50,000円
3月4日	勝 栄	5,000円



ヤオハン荻窪店  
 鈴木店長(左)  
 社協 對木会長(右)



## 湯本地区社協 「ふれあいのつどい」を開催

3月3日(木)  
 ホテル南風荘

湯本地区社協では70歳以  
 上の一人暮らしの方を招待  
 し会食会を開催しました。

余興ではボランティアの方  
 や参加者自身が踊り・手品・  
 唱歌などをそれぞれ披露し  
 ました。楽しいつどいの最  
 後は毎回恒例の「きよしの  
 スンドリ節」などを参加者  
 全員で踊りました。



お楽しみ会の会食会

## はこね社協サービスセンター通信

三寒四温のこの頃、暖かい日はまだまだのようです。  
 12月末、旧湯本中学に移転し、はこね社協サービスセンターと、社名も新  
 しくなりました。  
 通所介護も加わり、訪問介護、居宅と以前同様、皆様のお役に立てるよう  
 にと頑張っております。  
 さて先日、社会福祉協議会主催で行なわれた「介護者の集い」に参加した  
 時の事を、皆様に、お話しします。さまざまな背景を持たれ、介護をされ  
 ている方々が集まって下さいました。ご主人様を長年介護されている方、介  
 護が必要になり、遠方の両親と同居された方、息子さんが、お母様を介護さ  
 れている方、長年お父様を見られた娘様。  
 介護をはじめ、今までの人間関係が、絶たれお友達から、食事会の誘い  
 の声すら掛からなくなった。(相手の方は、気を使われての事と思われる)  
 ストレスのみ溜って行く。  
 おもわず殴りたくなった拳を上げ、我に返り下げた……。  
 そのような中、介護サービスを使い始め、ケアマネや、介護事業所の方に、  
 思いを吐露したり、介護方法を教わり、短期入所を利用して自分の時間を作  
 る事ができ、また優しく介護できるようになれた。など貴重なお話を伺いま  
 した。  
 お一人で頑張ってお話されている方、どんな些細な事でも、ケアマネジャー  
 に、ご相談下さい。お話を伺い、一緒に考えていく事ができると思います。  
 私の担当している介護者の方で、「母親の介護がなければ、介護サービス  
 の事業所の人とは縁がなかった。この出会いを大切にしたい。」と、マイナ  
 スを、プラス思考に変えている方がいます。大変な介護が、少しでも明るく  
 なるように。

## 新たな社協の機動力

2月14日神奈川県生命保険協会様か  
 らの福祉巡回車贈呈式を開催しました。

この車両は、神奈川県生命保険協会  
 の職員のみなさまからの募金で購入し、  
 利用者宅への訪問に活用するために巡  
 回車としてご寄贈いただいたものです。  
 箱根町は、車がなければ利用者宅へ  
 の訪問がままなりません。本会の職員  
 も、車が空いていなければ、訪問を見  
 合わせることもしばしば……。  
 今回ご寄贈いただいた車両は、小回  
 りのきくミラバンです。箱根の狭い道  
 でも活躍してくれることでしょう。よ  
 りいっそう地域の方々との顔が見える  
 関係を築いていくために、有効に利用  
 していきたく思います。

神奈川県生命保険協会のみなさま、  
 心よりお礼申し上げます。



左から社協 對木会長、小林副会長  
 生命保険協会 間崎CR委員長、北川事務局長